



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

6月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】 対外債務の取り消し
【宣教】 暴力が支配する地域での教会
【日本の教会】 聖体と貧しい人への奉仕

「司祭年」開幕 テーマ「キリストの司祭職への忠実」

司祭年開幕に当たり、教皇庁聖職者省は、クラウド・ディ・フンメス枢機卿の名により以下のようなメッセージ（抜粋）を4月3日付けで発表した。

教皇ベネディクト16世は、「キリストの心の祭日」である6月19日から2010年6月19日までを特別に「司祭年」とすることを発表しました。それは、司祭職が円滑に行われるために特に必要とされる司祭の霊的完成への努力を促すためです。この日は「アルスの聖なる司祭」であり、キリストの群れに仕える牧者の模範である聖ヨハネ・マリ

ア・ピアンネの没後150周年にあたります。司祭年は、感謝の心をもって主のみ業をもう一度観想し直すよい機会です。「引き渡される夜」（1

2009
6.19
2010
6.19

り組みが確かな行われますように。この機会にわたしの深い尊敬の念を新たにし、皆様の幸運をお祈りします。

「パウロ年」
閉幕感謝ミサ
日時：6月28日
14時
場所：カテドラル
大名町教会

教区邦人司祭集会



去る4月27日・28日、全教区司祭を対象にした研修会が玉名で行われた。1日目は司祭の老後についての話し合い。2日目は玉名教会において、今後の集会そのものについて、参加者一人ひとりから皆発言し、開催を年何回にするか、どのようなテーマを取り上げてほしいかなどに関して意見を交換した。新司祭か

「シスターは、自分がこういう大きな学校の責任者であることを、どう感じていますか」と、M神父が訊ねた。
「あら本当に。もし私が修道者でなかったら、こういう職務についていることなど、絶対になかったでしょうからね。」日本の女性として、この地位にあることは「現在、機会均等は日本の男女も法的に保障されている、欧米ほどではなくて

も、女性の管理職もかなり普通になっています。ただし、私の場合、正直に言って、これは自分に不向きな任務なんです。でも、神様からいただいた仕事ですから、やるからには楽しくやりたいと思いますし、同時に、神様が私を道具にお使いになる邪魔をしないためにどうしたらいいかと、毎日考え、折りながら働いています。」名譽や守備範囲については「。性格なのか、あまり意識に上りませんね。ただ、この点で私たちは、国公立を相手にしなくて済む代わりに、カトリック教会の中で注意していたいと思うのです。学校が守るべき法的な

いし、社会的な領域と、教会の中での居場所との折り合いです。これは時としてデリケートでありえますものね。」世界の教会の歴史の、永遠の課題かも知れないね。「人間の成熟度と愚かさの、微妙な織物と言わなければいけません。私はあまり複雑に考えないのです。人様を動かすことはできなくても、少なくとも自分が神と教会を愛し、教区や小教区を大事にして謙虚に行動することが本質なのですから。」
コングレガシオン・ド・ノートルダム 会員
シスター 今泉ヒナ子

ある友人の司祭は新しく赴任した教会で、まず全ての信徒の家庭訪問をしたそうである。このことを聞いたとき、自分も司祭として、やるべきだと心のどこかで思いながらも実行に移したことがなかったため「やっぱり訪問を実行している司祭がいるんだ」という驚きと感動を覚えた▲
「ミサに來なさい」「入門講座に、聖書講座に」と言いつつ、自分からは教会を出ようとしな。福音書を読むといエスは決して一つの場所にとどまることなく、次から次へと移動され人々に出会い、癒し、言葉をかけていかれたことが分かる▲ところで、幼少期の頃を思い返すと、たくさんの信徒が自宅に來られてロザリオ会などが盛んに行われていたことを記憶している。今は車社会になり生活が便利になった反面、人々との関わりは薄くなり信仰を同じくする者が交わる機会も本当に少なくなってきた気がする。立派な聖堂などなかったキリスト教草創期において、人々はやはり各々の家庭に集い、祈り、パンを割き、分かち合っていた。私たちはもう一度このような血の通った人と人とのつながりを大切にする共同体作りが必要なのではないかと思うのである▲社会における人間関係が希薄になればなるほど、教会もその影響を受けざるをえない。しかし、一般の人が初めて教会に足を運んだとき、通常の社会と何ら変わることもないコミュニケーションであれば誰が魅力を感じるであろうか。ここには他にない暖かさ、寛容さ、そして何よりもキリストが教えた愛が溢れているとき、真に意味のある教会と言えるのであろう。M

司祭評議会開催

2009年度、第1回の司祭評議会が5月19日司教館にて開催された。冒頭、司教は着座後2年目を迎えるに当たって、協力者である司祭団に謝意を述べ、「教区の活性化に向け一致して歩んで行こう」と挨拶した。

次いで、各委員会の報告に移った。まず召命部会から、5月3日の召命祈願日の取り組みについて分かち合い、今後とも青少年を対象とした黙想会や練成会の開

催計画、また現在教区の神学生3人が在籍する長崎カトリック神学院の担当者による訪問予定などが紹介された。今年の優先課題として、教区が一つになってこの問題を進めていくべきだが、同時に教区には様々な問題があるのに、「召命」だけが前面にだされていることに対して違和感がある、むしろ小教区の刷新信徒の養成が先にあって、その実りとして召命が出てくるのではないかという意見、あるいは召命が増えている教区の一例として、滞日外国人や社会的弱者を援助することがまず先にあって、そこに関わる青少年が自然と召命の道

に入っているなどの意見が出され、活発な議論が交わされた。さらにこの問題の核心は、組織や制度の問題ではなく、まず小教区で働く司祭一人ひとりに問題があるのではないかと、現場の司祭の姿を見て青少年はその道を志すのではないか。結論としては、司祭がどれほど福音に生きる魅力的な人物であるかが問われているという貴重な意見で締めくくった。

司教からは「プレセミ」即ち、召命を考えている若者に司教が自ら働きかけて分かち合う集いをスタートさせており、この件の理解を求めた。次に「司祭の生活小委員会」では、司祭の老後の家建設の案が提出された。召命の家を改築し、司祭6人が入所出来る施設を建設する。対象は、定年（75歳）を迎えた司祭（2009年5月現在で12人）で、プライベートルームと共用スペースを兼ね備えた施設を計画中である。

続いて「司祭の生涯養成小委員会」では、司祭のための生涯養成プログラムが提案された。それによると5年周期で2週間の研修プログラム、司祭は少なくとも5年ごとに研修会に参加する。内容は、霊性、聖書、典礼、司牧宣教など、豊かなプログラムとなっているが、2週間にわ

たつて教会が不在になることが可能か、費用の問題など意見交換があった。
午後からの質疑の中で「司祭年」開幕に当たって、6月21日の主日のミサを「開幕のミサ」として各小教区単位で捧げ、司祭団としては6月開催の研修会において開幕のミサを捧げることとなった。
また増え続ける滞日外国人の司牧について、各地で行われている外国語のミサの現状が紹介され、それに伴う信仰教育の必要性が急務なこと、またフイリピン宣教師の派遣についてなどが討議された。

福岡優勝！ 西日本司祭団ソフトボール大会



初夏を思わせるような気温となった五月晴れの11日、恒例の西日本司祭団ソフトボール大会が大部分のスポーツ交流広場で開催された。
今年は、福岡、大分、高松、

広島合同チームの3チーム40人が対戦した。最初に行われた大分対高松・広島合同チームの対戦は、予想に反して合同チームが勝ち、大会初の1勝をおさめた。
午後からの福岡対大分の試合では、速球投手高野治選手（大分教会）を、宮原司教を中心とした強力打線で福岡が打ち崩し、8点差をひっくり返して逆転勝ちした。福岡の2試合目、合同チームとの対戦では、連投の森山信三選手（西新教会）の力投で優勝を飾り、竹森勇監督（水巻・黒崎教会）の体が宙に舞った。

810-0016

近頃の若いモンは

—青年による青年事情通信—

動

皆さんはじめまして！私は先日20歳を迎えました。人間としても信仰の面にしても未熟ではありますが【とにかく考えてみたことは悩む前に動け！】を自分のモットーに生活しています。やってみないと分からないこともあると思うからです。昨年12月より月



ペトロ浦川務神父

わたしたちが日々の生活のなかで何となく唱えている祈りに「主の祈り」や「聖母マリアへの祈り」があります。私はこれらの祈りを意識して覚えた記憶がありません。気づいた時にはこ

祭シリーズ②

召命と家庭

召命における家庭の役割について

祈ることを学ぶのに最もふさわしい場が家庭であり、家庭で父母の姿から学ぶのです。家庭が崩壊したり、不和になったりすれば、多くの子は愛と祈りを知らずに育ちます。家庭崩壊が進んだ国は、やがて多くの困難な問題を抱えることになるでしょう。」とわたしたちに家庭が持つている役割を教えてくださいました。

一度、第三火曜日の夜7時30分から、西新教会の聖堂に於いて【光の集い】という祈りの集いをさせて頂いています。

召命という大切なこの課題に取り組むためには、召命が家庭より生まれること、そしてその信仰生活の実りとして与えられ、育まれ成長していくということを再認識いたしましょう。

でした。ただ、「尊く、善いこと」への道を歩む喜びと不安がある時、交錯してしました。もちろん、神学生としての歩みにおいて「司祭への召命とは何か？」を事ある毎に問い続けました。手にした答えは「神様からの招きであり、恵み」でした。そして、この答えは幼い頃より目にし、耳にした信仰者の生き様から得たものでした。

はマザー・テレサでした。彼女の生涯を一言に集約するならば「世の最も貧しい者の友」といえるかもしれせん。わたしたちを魅了してやまない彼女の生涯は何処から来たのでしょうか？

彼女の両親は周囲の貧しく、困窮した隣人への愛に満ちた人だったそうです。ですから、彼女は幼い頃より、貧しい人を身近に感じ、奉仕する事のすばらしさをその両親の姿を見ながら学び、成長しました。彼女の隣人

第48回クルシリヨ開催



今年も爽やかな五月晴れの月、第48回クルシリヨが開催されました。参加者は7名と少数ではあったが、数年前に司教様のご出席も賜り、実り多いものであったと思う。しかも司教様自ら講義を1コマ担当され、参加者と

4月18日の復活の土曜日、武蔵ヶ丘カトリック教会をはじめ、プロテスタントを含む3団体で熊本刑務所を訪問した。約130人の男性受刑者を前にして一瞬たじろいだ

復活祭に刑務所を訪問して 武蔵ヶ丘教会

1603年に弾圧され殉教したヨハネ原主水の話をしながら「過去に罪を犯したあなたにも将来がある。行ったことを認め、償いながらこれから

また武蔵ヶ丘教会の井手祥子さんは「神さまの力を受け入れ、心を開き、人の道を日々選び続けるなら、どのような状況にあっても希望と安心の

ミンダナオデー



図書館設立者の松井友さん

5月17日、行橋教会有志で発足したミンダナオ支援「Mの会」の呼びかけで「ミンダナオデー」が開かれた。フィリピン・ミンダナオ島の紛争で難民となったイスラムの人々や貧困に苦しむ先住民の人々の自立支援を行う「ミンダナオ子ども図書館」の活動を紹介し、支援資金を作る

行橋教会「Mの会」

子どもと共に捧げるミサから始まり、一時帰国している図書館設立者の松井友さんから、日本からの寄付や奨学金、里親支援によって行われている様々なボランティア活動、その自主的に支え合う様子が映像で紹介された。

また、今年1月に空爆下のガザで緊急医療活動を行いパレスチナの人々に勇気を与えた山形の精神科医、桑山紀彦さんも参加。桑山さんはインターネットを通じて、戦場で苦しむ人々のために身も知らぬ行橋教会の皆さんが祈ってくれていたことは、見捨てられ

上るべきであろう。そういう意味では、神学生の減った今、真に信徒だけを対象にしたクルシリヨになりつつあるのかもしれない。今年は久しぶりに司教様の派遣の祝福もいただいたし、スタッフにも若い顔がちらほら見られた。少ないながらも神の導きにより、新しいスタートを切ったような気がする。これからもスタッフ一丸となって、努力を重ねていきたい。最後に、開催にあたって霊的花束やご寄付、ご支援くださった多くの方々へ心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

光を自分の内に実感できる

その後、訪問者全員で「君は愛されるために生まれた」とを合唱した。手拍子で応える受刑者の人もいて温かい一時を送ることができた。

参加者の荒巻さんは「この訪問を通してわたしも罪人、人からは赦されないかもしれないが、神は赦してくださる。その神の愛と信頼を裏切らない生き方が罪を償う方法ではないかと思う」と語った。

バザーやコンサートである

子どもと共に捧げるミサから始まり、一時帰国している図書館設立者の松井友さんから、日本からの寄付や奨学金、里親支援によって行われている様々なボランティア活動、その自主的に支え合う様子が映像で紹介された。

また、今年1月に空爆下のガザで緊急医療活動を行いパレスチナの人々に勇気を与えた山形の精神科医、桑山紀彦さんも参加。桑山さんはインターネットを通じて、戦場で苦しむ人々のために身も知らぬ行橋教会の皆さんが祈ってくれていたことは、見捨てられ



読書専科

☆パウロの福音 カルロ・マリア・マルティニ 著 佐久間 勤 訳 黙想書です。どの黙想にもテーマにそって聖パウロの手紙、使徒言行録が縦横無尽に引用されており、豊かさを感ずる。さらに一つのテーマの黙想がパウロの思想の奥深さを感じさせてくれると同時に、読者への問いかけ、回心を呼びかけている。

☆お誕生日おめでとう セラピー L・エンジェルハート 文 R・W・アリイ 絵 目黒 魔天雄 訳 本書は、誕生日の多くの面を探ります。過去を振り返る気持ちから、現在を味わい感謝する心と未来に希望を抱くところまで。 サンパウロ社 発行 税込定価 735円

☆ペトロ岐部と187殉教者 歴史・巡礼ガイド カトリック生活編集部 編 188 ペトロ岐部と187殉教者 人の福者、司祭の三部構成でそれぞれの立場からのちを掛けて愛を証したキリシタンたちをグラビア一杯で紹介。 ドン・ボスコ社 発行 税込定価 735円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください



(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- ・一般住宅（新築・改築工事）
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

 セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時 (水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

み国が 来ますように！

カトリック教会のカテキズム

日時：2009年7月26日（日）15：00
場所：カテドラル大名町教会
講師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
資料：カトリック教会のカテキズム
＊6月の講座は休講です。

第4回 聖パウロを読む

日時：6月7日（日）14時
場所：カトリック大名町教会
テーマ：スライドと共に味わう

パウロの世界
ーパウロが宣教したヘレニズムの世界ー
指導：鈴木信一神父（聖パウロ会司祭）
主催：福岡教区聖書委員会

2009 年度北九州地区聖書講座

メインテーマ：いただきます
～神のことばを食べる～

スケジュール

Ⅲ. 日時：7月26日（日）14時～16時半
場所：カトリック行橋教会
講師：山元 眞 神父（行橋教会主任）
テーマ：新約聖書の言葉の味
主催：北九州地区信徒協聖書部会／
教区聖書委員会

＊2010年1月24日まで、全6回開催します。

あっちこっちミサ

あっちこっちミサとは⇒全国あっち
こちで同じ日時、同じ典礼を皆が捧
げるミサです。過去、02、04、06年
と開催され、今回は全国12地区14団
体が参加します。普段分かれて活動し
ている青年たちが「離れていても同
信仰で繋がっている」ことを感じ、一
致の恵を喜び合うミサです。

テーマ：出会いは救い

これまでに私たちが見落としてきた数々の出会い、こ
れも大きな神さまからの恵であることに感謝したい。ま
た今回のあっちこっちミサが多くの人との出会いの場にな
りますように。

日時：6月21日 13：30 受付
14：00 聖歌の練習
15：00 ミサ
福岡会場：泰星学園（福岡市中央区動物園となり）
対象：どなたでも／洗礼を受けていない中高
生の方など。大歓迎！！
参加費：中高生100円・大人300円（茶話会代）
問合せ：achikochiachikoochi@yahoo.co.jp
（古木英祐／光丘教会）

福岡教区広報室アドレス
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

みこころの月

案内板

会合と催し

6月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 6月

◇1日(月)～3日(水) 御受難修道会共同体的日
◇6日(土)～7日(日) 黙想の家後援会・『黙総会』&『総会』
◇8日(月)～15日(月) 奉獻生活者の為の黙想会(参加者募集中)
指導：来住英俊神父
福岡チェナクルム
◇20日(土) 聖マリア在俗会黙想
◇21日(日)～22日(月) 北九州クリスチャンの集い
◇27日(土) 福岡県宗像市名残1056
〒811-4155 ☎0940・32・3222 ㊦32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：聖パウロについて
レクツィオ ディヴィーナ
・日時：6月11日(木) 10時～15時半
・内容：聖パウロの旅
指導：フランコ・ソットコロノラ神父(真命山院長)
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
園田善昭神父／Sr. マリア デ・ジョルジ
＊個人やグループでの黙想会や研修会も歓迎いたします。
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
☎0968・85・3100 ㊦0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail: shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：6月20日、7月4日 第1・第3土曜日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
＊基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

福岡

■福岡祈りの会
〔日時〕毎週月曜11時から12
時30分〔場所〕大名町教会1
階〔内容〕賛美と感謝の祈り・
聖書の分かちあい〔代表〕Br
床嶋〔問合せ〕☎092・5
21・2503 蓮尾
■召命祈願ミサ
〔日時〕6月11日(木) 19時
30分〔場所〕日本カトリッ
ク神学院福岡キャンパス大聖
堂〔主式〕岩下裕志神父／カト
リック浦上教会助任 ☎09
2・871・4943 神学院
■召命徹夜祈禱会
〔日時〕6月13日(土) 19時
のミサから14日(日) 7時のミ
サまで〔場所〕カテドラル大
名町教会〔問合せ先〕福岡教
区召命担当Ⅱ浦川務神父(久
留米教会主任) ☎0942・
32・8011
■在世フランシスコ会集会
〔日時〕6月21日(日) 14時
から〔場所〕高宮フランシス
コ会修道院在世会集会所〔内
容〕アシジの聖フランシスコ
に倣って、福音に生きるため
に。ミサと学習〔指導〕戸村
悦夫神父〔問合せ先〕☎09
2・843・5831 岩崎
■第5回信仰と祈りの養成
研修会(若い女性信徒のため)
〔日時〕6月21日(日) 15時か
ら18時〔場所〕カトリック大
名町教会信徒室〔講話〕大塚
了平助祭(参加費)300円
〔主催〕川島キヨ子(使徒職の
協力者)〔問合せ先〕☎092・
715・3606 鈴木美子
■召命を共に祈る会
〔日時〕6月18日(木) 14時30
分から〔場所〕召命の家〔問合
せ先〕浦川務神父(教区召命
担当司祭・久留米教会主任)
■青年黙想会
〔日時〕6月27日(土) 20時か
ら28日(日) 16時まで〔場所〕
カノッサ修道女会太牟田修道
院(大牟田市倉永)〔テーマ〕
よわさこそ〔対象〕青年キリ
スト者と求道者〔同伴〕Sr.大
田(参加費)1500円(申込
☎0944・58・5793
/ sisak@hotmail.co.jp
Sr.大田
■第51回福岡典礼聖歌研修会
〔日時〕6月21日(日) 13時半
から15時半〔テーマ〕キリス
トを賛美する：一般賛歌：
〔講師〕深堀純(大名町教会信
徒)〔場所〕カトリック笹丘
教会(参加費)感謝献金〔問合
せ先〕☎092・541・3
730 松山
■虹の会
〔日時〕7月11日(土) 13時半
から16時半〔場所〕カトリッ
ク大名町教会3階〔内容〕子
どもを亡くした親の悲嘆の分

北九州

■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕6月5日(金) 10時か
ら〔場所〕カトリック新田原
教会聖堂・テレジア館〔内容〕
ミサ・十字架の道行・ミート
ング〔司式・指導〕杉原寛信
神父(新田原教会主任)〔問合
せ先〕☎093・963・2
359 江口
■小倉祈りの集い
〔日時〕6月26日(金) 13時半
から15時〔場所〕カトリック
小倉教会信徒会館2階〔指導〕
ガブリエル神父(御受難修道
会)〔内容〕『みことばを味わ
う』賛美と感謝の祈り〔連絡
先〕☎090・3985・5
209 松田裕子
■佐賀祈りの集い
〔日時〕6月10日(水) 10時
11時30分〔場所〕佐賀カトリ
ック会館〔内容〕共に祈る(次回
6月24日(水) 毎月第2と第
4水曜日。どうぞご参加下さ
い。〔問合せ先〕☎0952・
30・8347 吉武

熊本

■熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕6月18日(木) 11時〔場
所〕カトリック健康教会〔内
容〕ロザリオと話し合い〔問
合せ先〕健康教会 ☎096・
368・2825 青木悟神父
■カトリック看護協会福岡支
部の集い
〔日時〕7月12日(日) 14時30
分から17時〔場所〕イエズス
の聖心病院会議室〔問合せ先〕
☎096・352・7181
Sr.竹内
編集後記
「パウロ年」を終えて、「司
祭年」が始まります。司祭に
ついて考える年であれば、信
徒や修道者は関係ないとい
うことではありません。様々
な神の招きの中で、司祭も一
つの召命です。あくまで、教会
全体の活動の中で、司祭職と
いう役割について考えていく
べきでしょう。この恵みの年
を「神様からの招き」という
大きな視点からとらえる時、
司祭ではない圧倒的な数の信
徒の皆さんにとっても、意味
のある年になるのではないで
しょうか。パウロ年のコラム
は森山敬三さんが1年間、担
当してくださいました。感謝
いたします。また教区教勢の
中で、紙面の都合上、「求道
者」の欄が掲載出来ませんで
した。また今回この数から見
えてくることについて評価が
なされていませんが、皆様に
お委ねいたします。
教区報の編集に携わって1
年が過ぎました。充実した紙
面、少しでも皆様にとって意
味のある紙面にしたいと励ん
でおりますが、どの程度教区
報が読まれているのか、気
にかるところでもあります。
率直なご意見、ご要望を
いただけると幸いです。皆様の
「声」も出来る限り掲載した
いと考えていますので、よろ
しくお願いたします。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

医療法人 雪ノ聖母会
聖マリア病院

*** 募集 ***
＜医師＞＜看護師＞
勤務形態：4週8休 ※詳細は人事部へお問合せ下さい。
★がん診療連携拠点病院★地域医療支援病院
★入院基本料(一般病棟)7：1
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422番地
TEL 0942-35-3322(代表) FAX 0942-34-3115
【ホームページ】http://www.st-mary-med.or.jp

天然素材の
健康住宅
大地・海・山の恵みを取り入れ優れた素材を
そのままディスプレイした住まいづくり
有限会社 **ナガシマ建築工房**
社長 ヨゼフ 長島哲夫
福岡市早良区飯倉8-10-17 TEL:092-871-0063
【ナガシマ建築工房 福岡】 検索

サンパウロ福岡宣教センター
至聖なる
イエスの
聖心...
【6月・聖心の月、時整コーナーあり】
1階 聖書・信心書・祈り・聖歌・聖像・聖物・
お祈り・お話し・お祈り・お祈り・お祈り・
営業：10:00～18:00 ※定休日：日曜日・祭日 ※駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区天神1-14-20
TEL:092-271-0000 FAX:092-271-0000